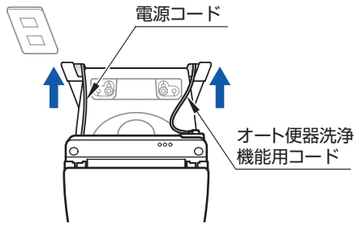
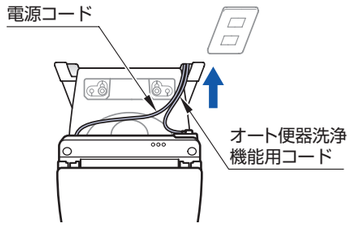
4 コードとホースを収める

- 前板切欠き部よりコードを押し込んで収める。

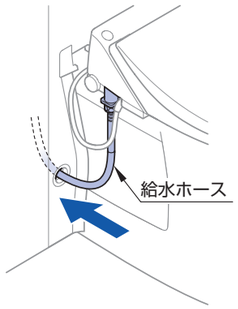
コンセントが左にある場合



コンセントが右にある場合



- ホースが折れないように注意しながら、たるまない程度にキャビネットの中に入れ込んで収める。



5 電源プラグを差し込む

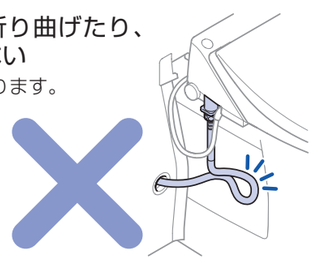
- 「切(テスト)」ボタンを押す。

⚠ 注意

禁止

連結ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない

水漏れの原因になります。



電気温水器

参照 電気温水器のお手入れは、付属の取扱説明書をご参照ください。

冬場の凍結を防ぐ

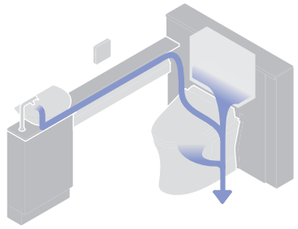
凍結予防には２通りの方法があります。

凍結が予想されるときは、以下の処置を行いましょう！

- 製品が凍結すると機器が破損し水漏れの原因となります。
- 凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。
- 凍結のおそれがある場合は、トイレ内は暖房などをして周囲の温度が凍結予防限界温度以下にならないようにしてください。

水抜方式

器具および配管中の水を抜いて凍結を予防します。

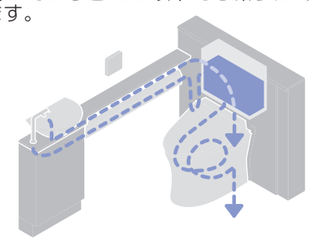


凍結予防限界温度	
大便器･タンク（室内暖房用）	0℃
（ヒーター付便器併用）	−15℃
ウォシュレット部	0℃
手洗器部	0℃

流動方式

少量の水を流し続けて凍結を予防します。

水は動いていると 0℃以下でも凍りにくい性質があります。



凍結予防限界温度	
大便器･タンク	−10℃
手洗器部	−10℃

※ウォシュレット部に流動方式はありません。

大便器･タンク

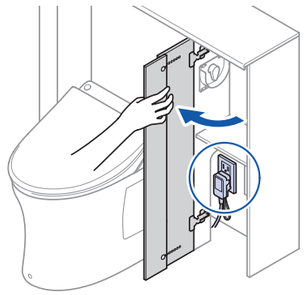
Point!

事前に、水抜栓(他社製品)または大便器キャビネット内の止水栓で、給水を止めてください。

参照 水抜栓の操作方法は、水抜栓の取扱説明書をご参照ください。

水抜方式

1 キャビネット扉を開ける

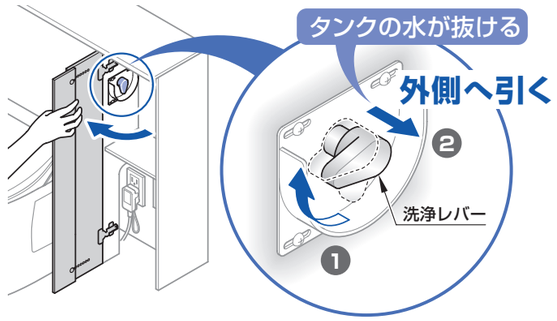


Point!

電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認してください。

② 洗浄レバーを、手前側いっぱいに回したまま外側に引く

③ レバーがロックされ、タンク内の水が大便器に抜ける



水抜き後の再通水

① 洗浄レバーを内側に押し込んで下向きに回す

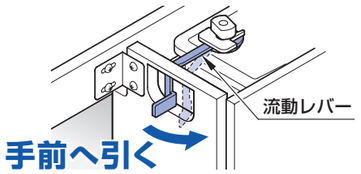
② 水抜栓または大便器キャビネット内の止水栓を操作して通水状態にする

流動方式

① 流動レバーのあるキャビネットを開ける

I型	L型	
	右勝手	左勝手
		まるごと収納 / スリム収納
左扉を開ける		① 天板を開ける ② 底板を取り外す / 天板を開ける

② 流動レバーを操作する



※再使用の場合、流動レバーを奥壁側へ戻してください。

長期間使わないとき

水抜き後、便器に不凍液を入れる

ウォシュレット部

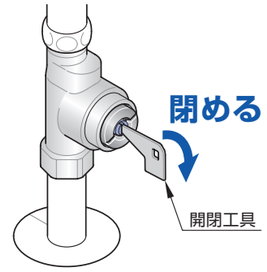
水抜方式

- 凍結予防の作業前には オート機能 入/切 ふた開閉 オート機能 入/切 流す を「切」にして、便座・便ふたを閉めた状態にしてください。
- 節電はしないでください。凍結により製品が破損することがあります。

参照 節電機能の解除のしかたについては、ウォシュレット付属の取扱説明書をご参照ください。

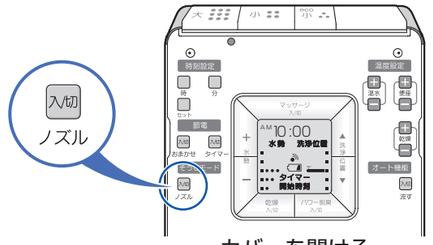
① 給水を止める

- 水抜栓（他社製品）または大便器キャビネット内の止水栓を操作して給水を止める



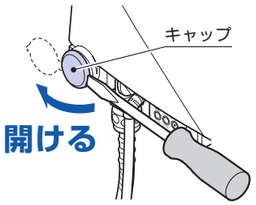
② 配管の水を抜く

① リモコンのカバーを開けて、そうじモード 入/切 ノズル を押す。
（ウォシュレット内部の残水を抜きます。）

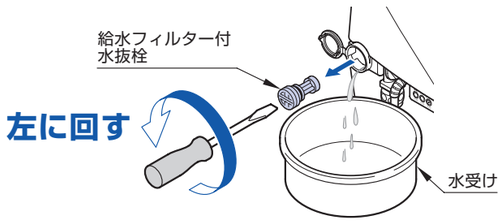


カバーを開ける

② キャップ（灰色）を⊖ドライバーで開ける。



③ 給水フィルター付水抜栓を⊖ドライバーでゆるめた後、引っ張って外す。



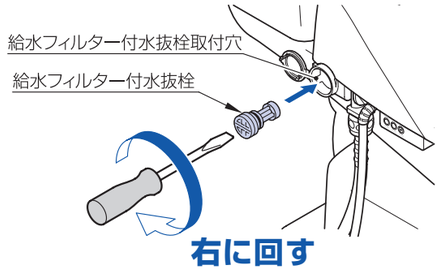
⚠ 注意

禁止 止水栓を開けたままで給水フィルター付水抜栓を外さない

水が噴出します。

④ 給水フィルター付水抜栓を取り付ける。

① 給水フィルター付水抜栓を押し込み、⊖ドライバーで確実に締める。



⚠ 注意

必ず守る

給水フィルター付水抜栓は確実に締める

確実に締めないと水漏れの原因になります。

② もう一度 そうじモード 入/切 ノズル を押す。

- ノズルをもとの位置に戻してください。

Point!

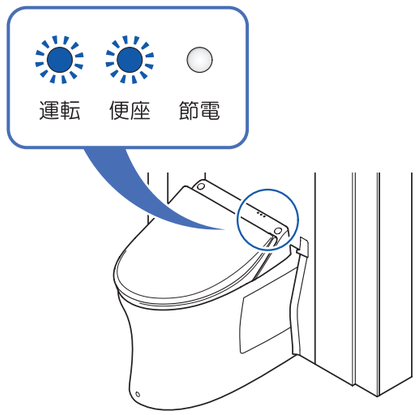
便座を閉めているときや、便座を閉めると、ノズルが戻った後、残水を抜くためにもう一度ノズルが出てきます。
約 30 秒後にノズルは戻ります。

⑤ キャップとリモコンのカバーを閉める。

③ ウォシュレット内を保温する

- ウォシュレット本体操作部の 運転 入/切 が「入」であることを確認し、リモコンの便座温度設定を「高」にしてください。

※ 凍結予防の作業後には、便座・便ふたを閉めてください。



手洗器部

Point!

事前に、手洗器給水管用の水抜栓（他社製品）を、**排水（水抜）側に切り替えてください。**

参照 水抜栓の操作方法は、水抜栓の取扱説明書をご参照ください。

水抜方式

ハンドル式水栓

① 水栓のハンドルを開にする

使いかた P16

② 水抜きが終わったら、水栓のハンドルを閉める

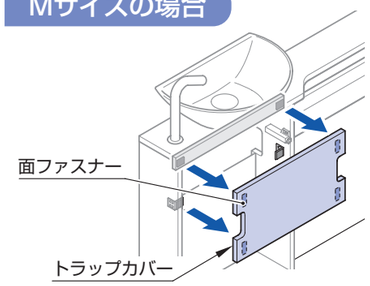
自動水栓

① 水抜栓（他社製品）を操作し、給水を止める

※止水栓は開けたままにしておいてください。

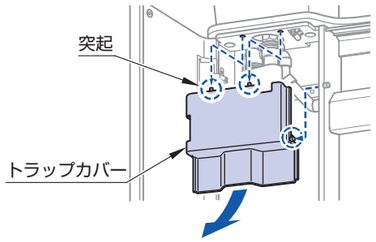
② キャビネットの扉を開け、トラップカバーを取り外す

Mサイズの場合



※トラップカバーは強力な面ファスナーで固定されています。落下などに十分気をつけながら、両手で取り外してください。

Sサイズの場合



※トラップカバーの下部を持ち、手前へ引いてください。

③ 自動水栓機能部の水抜栓を開ける

④ 水抜きが終わったら、自動水栓機能部の水抜栓を閉める